



## プレスリリース

2009年5月27日

社団法人 日本原子力学会

(社)日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる、学術・技術専門家集団として、社会への情報提供を行うため、本会の主要な動きについて、随時プレスリリースを行っています。

今回は、5月25日の北朝鮮による核実験への声明を発表します。

### 北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）核実験に対する声明

2009年5月27日

(社)日本原子力学会

北朝鮮は、2009年5月25日核実験を実施したと発表した。米国オバマ政権が広島・長崎への原爆投下の責任に言及するなど、核軍縮の機運が盛り上がっている中、国際社会の北朝鮮への自重を求める声を無視し、核実験を強行したことは、北東アジアの安全と安定を脅かすだけでなく、人類の持続的発展、生存、地球環境の保全にとって不可欠である原子力エネルギーの平和利用からの著しい逸脱行為であり、日本原子力学会は、強くこれに抗議する。

本会は、原子力の平和利用に関する学術および技術の進歩をはかり、会員相互および国内外の関連学術団体等との連絡協力等を行ない、原子力の開発発展に寄与することを目的として、原子力の研究、開発および利用を担ってきているところであり、大量破壊兵器開発のための核実験は、理由の如何を問わず、またいかなる国の行為であっても容認できない。

本会は、今後とも、原子力の学術、開発、産業に携わるものの団体として、核兵器のない国際社会の実現に向けた使命の重大さに思いを新たに、国内の関係者、関係機関ならびに海外の学会などとの一層の連携、協力を進め、原子力の平和利用の発展に貢献していく所存である。

以上